

AtCoder 練習帳 3 : 2020 年 1 月～

使用言語を Haskell に変えてみました！

2020-12-31 (Thu)

ARC050B - 花束

復習ず のしょっぱな。

基本的な考え方 (まずどちらも 1 本ずつ必要で、そのあと $(x-1)$, $(y-1)$ でわる) は OK だったものの、負になってないかのチェックをおこたって WA*¹

また、`bisectRight` は、条件を満たすもののうち最も右にあるものの「さらに 1 つ先」のインデックスだぞ！

Codefestival 2015 qual A D - 壊れた電車

方針はすぐに立ったものの、入力例 2 があわず。左に行ってから折り返すのと、右にいったから折り返すのどで良い方をとらなければいけないことを見落としていた (この投稿例でいうと `r1` の方のみ考えてしまった) : 19082735*²

2020-12-30 (Wed)

ARC110C - Exoswap ★★

★★実装力的な意味で要復習

何日か前に自力ではとけなくて解説を読んだので、今日はそれを実装してみた。…が、TLE と WA がとれず。

- ちょうど $N-1$ 回の操作が必要なので、はじめから正位置にある数字も NG
- 数字を都度サーチしては時間がかかりすぎるので、逆写像を準備する
- 答えの列を蓄積するのに、後ろへの連結が速い `Data.Sequence` を使う

これくらいが要注意点だったかな : 19058216*³

ABC154E - Almost Everywhere Zero ★桁 dp

桁 dp, 要復習 : 19063138*⁴

メモ : 最初、 k (二番目の添え字) に関するループ範囲を、最初 $[0..(k-1)]$ としてしまったために答えがあわず、原因になかなか気づけなかった。

*¹ <https://atcoder.jp/contests/arc050/submissions/19073578>

*² <https://atcoder.jp/contests/code-festival-2015-quala/submissions/19082735>

*³ <https://atcoder.jp/contests/arc110/submissions/19058216>

*⁴ <https://atcoder.jp/contests/abc154/submissions/19063138>